

| | | | | |
|--|------------|------------------|---------------|---------|
| 担当教員 林 勲男 | | | | |
| 開始時期 前期 | 開講期間 半期 | 科目番号 20DRSf01 | 授業形態 演習 | 単位 2 |
| キーワード 支援、コミュニティ、文化、復興、防災 | | 対象学年 1年次 | 聴講・参加資格 専攻 | |
| 科目名称：日本語 オセアニア文化研究 | | | | |
| 科目名称：英語 Lecture (Oceanic Studies) | | | | |
| 科目の概要：日本語 アジア・太平洋地域における災害復興－支援、コミュニティ、文化 | | | | |
| 科目の概要：英語 Disaster Recovery in Asia-Pacific Regions: Aid, Community and Culture | | | | |
| 科目の目的： 自然災害からの復興の過程における社会や文化の様態を理解する。 | | | | |
| 学習成果・習得する技能や知識： 災害からの復興には、政治や経済など様々な要因が複合的に作用することを具体的な事例として知る。 | | | | |
| 成績評価方法・基準： 授業への参加貢献度 | | | | |
| 授業内容： 日本を含めたアジア・太平洋地域でこれまでに発生した大規模自然災害を事例として、多領域に渡る災害研究の基礎と社会人類学からのアプローチとその貢献について検討する。 | | | | |
| 日程： 第1回：オリエンテーション、第2回：災害サイクル、第3回：予防防災と事前復興、第4回：支援と受援、第5回：脆弱性、第6回：レジリエンス、第7回：災害エスのグラフィ(1)、第8回：災害エスノグラフィ(2)、第9回：災害文化(1)、第10回：災害文化(2)、第11回：Build back better、第12回：災害の記憶と記録(1)、第13回：災害の記憶と記録(2)、第14回：災害の記憶と記録(3)、第15回：まとめ | | | | |
| 実施場所： 研究室もしくは演習室 | | | | |
| 使用言語： 日本語 | | | | |
| その他使用言語： 英語の文献購読あり | | | | |

準備学習：

指定した参考文献を事前に読んでおくこと

関連科目・履修条件：

社会人類学の基礎的知識を有すること

参考書・その他の教材：

『自然災害と復興支援』（林勲男編著、明石書店）、『アジア太平洋諸国の災害復興』（林勲男編著、明石書店）、『3.11 震災は日本を変えたのか』。その他、授業の進捗に沿って適宜指示する

備考：

- ・ 阪神・淡路地震災害の関連施設の見学に際し、入館料（600円）を必要とする
- ・ 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可